

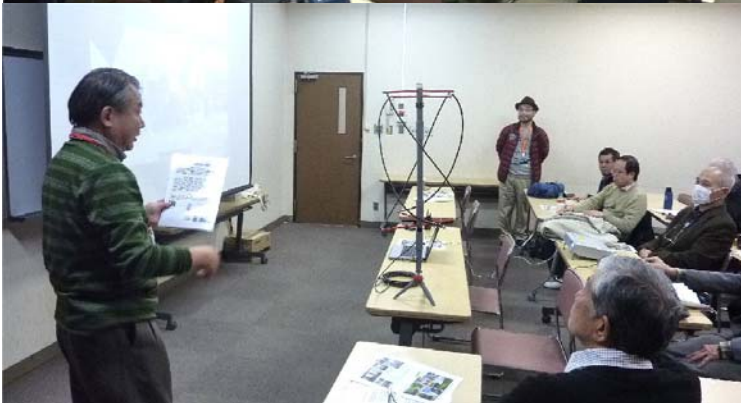
MLA48

NEWS
LETTER

2017年11月26日
No.131

MLA48プロジェクト

🕒 11月度合同ミーティング(MLA48 通算第82回)

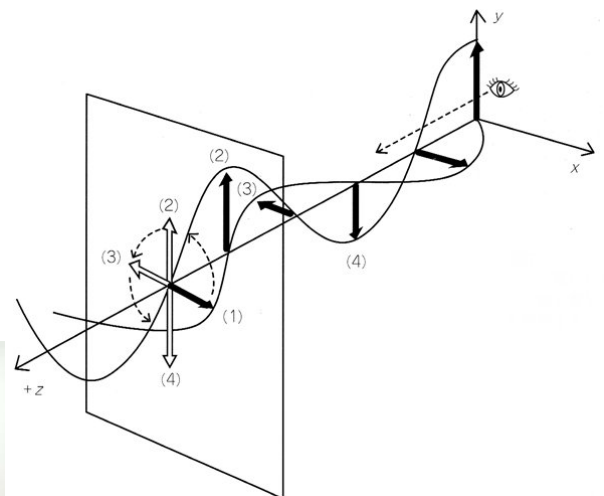


クロスダイポールは「直交する2つの電界を90度の位相差をつけて発生」。「原点から電磁波の進行方向 (+z) を見込んだとき、電界ベクトルの回転する方向を旋回方向とする(IEEE)」ので、図は「右旋回の円偏波」です。
[QFHアンテナ](#)は、2つの直交エレメントの給電点は同じ位置ですが、両エレメントの長さを少し延長・短縮することで、+と-のリアクタンス成分が得られるので、互いに90度の位相差が実現できるという技法でしょう。橋場さんの作品は、分解・組み立てが楽で、VY FBです。



11月25日(土)、長津田地区センターでJH1YMC [横浜みどりクラブ](#) 第五十四回アンテナ製作プロジェクトとMLA48プロジェクト合同ミーティングが開催されました。第一部のプチ講演は、[JG1UNE 小暮](#)から「15年間の現地取材でたどるアンテナの歴史」でしたが、その前に[Steynes 梅沢さん](#)の飛び入り。先週チェコの[OK2ER, Oldaさん](#)と[Robert君](#)を訪問したと

きの影像を拝見。わざわざ宿泊先までMLA-Tを運び、ベランダに置いて7MHz CWのQSOが楽しそうでした。その後、ファラデー、マクスウェル、ヘルツ、マルコーニの故郷を訪ねた旅行の写真で、アンテナ発明の原点に迫りました(ダイジェスト版の資料はDropbox)。第二部は、[JA9BQE 橋場さん](#)による「[QFHアンテナ](#)」の発表。あり合わせの材料で製作され、[NOAA19](#)の受信画像のノイズが改善されていますが、このアンテナの構造は奇妙です。



『電磁界シミュレータで学ぶアンテナ入門』(オーム社)より引用

終了後の懇親会は、いつもながら大盛況。アル変で弁舌もなめらかにアンテナ談義が尽きませんでした。

DE JG1UNE

